



工藤広行氏

テレビ制作部湾岸スタジオグループ  
インジェストコーディネーター



まさにわれわれが望む、唯一のソリューションだった。

## 革新的な SAN ストレージ共有システム

株式会社 IMAGICA (東京都品川区) は 2011年8月、フジテレビ台場スタジオ向けのオフライン用可搬型マルチチャンネルリアルタイムインジェストシステム「モバイルインジェスト」の運用を正式に開始した。そこで中核をなすのが、HyperFS ファイルシステムを搭載した、Rorke Data 社の Galaxy®Aurora (以下Aurora)/HyperDrive である。同社はこのシステムにより、ポストプロダクション作業のワークフローの効率化と短縮を実現。バラエティ番組におけるポストプロダクション業務の一層の高付加価値化を目指している。

### フジテレビ台場スタジオ向けのオフラインシステムとして運用

「モバイルインジェスト」の核となる Aurora/HyperDrive 導入の経緯について、IMAGICA・テレビ制作部湾岸スタジオグループインジェストコーディネーターの工藤広行氏は次のように話す。

「5年前にオープンしたフジテレビの湾岸スタジオには、計画段階から関わっていたので、それまでドラマなどに限られていたオフラインのノンリニア化を、バラエティ番組に広げること成功した。湾岸スタジオでは、21ch の同時インジェストに対応した SAN (ストレージエリアネットワーク) を導入しているが、そのワークフローを台場スタジオでも利用したいというニーズが高まってきた。しかし既にシステムが完成している台場スタジオでは、仮設での運用が必要となった。湾岸スタジオのシステムはラック5本分にも及ぶ大規模なもの。だが、台場スタジオでは1人で運搬できる大きさと、仮設する都合上、静粛性が絶対的な条件だった」



モバイルインジェスト  
Pipeline×3 + Aurora/HyperDrive

湾岸スタジオで導入されているワークフローについて、「VTRの録画と同時に、1chあたりPC 1台で SD (DV 圧縮) の QuickTime ファイルにインジェストを行い、SAN に蓄積。Final Cut Pro 用のマルチカメラのプロジェクトの作成と同時に、SD の QuickTime ファイルを外付けの HDD にコピー、顧客に渡すという流れ。オンライン作業は、オフライン後の EDL (Edit Decision List) を元にして、HD のリニア編集で行っている」と説明する。

台場スタジオでの新規導入にあたっては「湾岸スタジオと同じワークフローを台場スタジオでも利用できるようにするというのが、譲れないコンセプトだった」と強調した。

### SAN

複数の PC から同時にアクセスできる共有ストレージの一種。映像制作用としてハイエンドユースの共有ストレージとして広く普及している。

納入先：株式会社 IMAGICA

所在地：141-0022 東京都 品川区 東五反田 2-14-1

TEL：03-3280-7500 / Web：www.imagica.com

**Pipeline™ Quad**

SD/HDビデオ・オーディオ素材を各種ファイルフォーマットにエンコードするハードウェアデバイス。ネットワークを介して Mac または PC と接続し、迅速で安定したキャプチャが行えるだけでなく、主要ビデオファイルをプレイアウトすることが可能。

**HyperFS**

SAN と NAS が統合されたストレージファイルシステム。クラスター化されたユニファイドストレージシステムであり、パフォーマンスと信頼性の点で一般的な NAS 構成を凌ぐ性能を有する。

**サイズ、静粛性、価格の要望を満たすソリューション**

大きな課題となった小型化については、「台場スタジオ向けシステムを検討し始めたが、PC 1台で 1ch のインジェストという構成では限界があった」という。

そんな中、「1U サイズで 4ch の同時インジェストが行える Telestream 社の Pipeline™ Quad という製品を紹介された。バラエティー番組では 10ch を超える同時インジェストが求められるが、この製品であればチャンネル数に関わらず、PC 1台で対応できるのが魅力だった。しかし、それに対応するコンパクトなストレージがなく、サービスに繋がれずにいた」という。

そこで行き着いたのが、Rorke Data 社の Aurora/HyperDrive である。

工藤氏は「SAN でありながら 4U のコンパクトさで、VTR 1台よりも静か。通常の SAN であれば必要となる、メタデータコントローラーというサーバーも不要。更に、本来、別途用意が必要なメタデータ・サーバーソフトウェアにあたる HyperFS MDS ライセンスが、今回の構成では無料で付属することも決め手となった。サイズ、静粛性だけでなく、価格も従来の SAN よりリーズナブルで、まさにわれわれが望む、唯一のソリューションだった」と語っている。

**ワークフローの効率化を実現**

性能面でも「SD 12ch を同時にインジェストしながら、SAN に接続されている別の Mac を利用し、Final Cut Pro でマルチカメラプロジェクト組み、FireWire 800 を介して最高 5 台の HDD への同時コピーをおこなっても、何の支障もないどころか、大きく余裕がある。特に Pipeline™ では、インジェスト中に平行してマルチカメラ組みなどの作業を開始でき、収録が終わった直後にデータを渡せる状態になるのが魅力だ」としている。

工藤氏は、このシステムの導入の成果について「かつてのワークフローでは、スタジオ収録後に 1 日半に及ぶテープからのデジタイズ作業が必要で、オフライン編集まで最短でも 2 日必要だった。しかし、このシステムを活用した番組では、収録終了後の撤収中にハードディスクを渡すことができ、即日オフライン編集に入れるようになった。顧客からも大変喜ばれ、引き合いも急激に増え、既にレギュラー 3 番組と特番の収録で活躍している。ポストプロダクション事業の高付加価値化も達成でき、さらなる増備を検討している」と述べている。

システム導入：アプソリュート・イナッフ 株式会社 / 共信コミュニケーションズ 株式会社

Pipeline : [www.ask-media.jp/telestream/pipeline.html](http://www.ask-media.jp/telestream/pipeline.html) / HyperFS : [www.ask-media.jp/scale-logic.html](http://www.ask-media.jp/scale-logic.html)

お問い合わせ先

株式会社 **アスク**

102-0074 東京都千代田区九段南4-8-21 山脇ビル11F

Tel : 03-6913-9600 / Fax : 03-6913-9590 / Web : [www.ask-media.jp](http://www.ask-media.jp) / Mail : [info@ask-media.jp](mailto:info@ask-media.jp)